

美しい景観づくりに汗
 (株)伊藤園が社会貢献活動

7/11

小泊海岸で、(株)伊藤園の皆さんによる清掃ボランティア活動が行われました。
 快晴のもと、道内各地の支店から集まった76名の社員と家族の皆さんは、ごみ袋を片手に漂流物や空き缶などを拾い集め、清掃活動に汗を流しました。
 昨年は島武意海岸で行われたこの活動は同社の社会貢献活動の一環として行われており、今回の清掃活動ではトラック1台分余りのゴミを拾い集め、町の美しい景観づくりに尽力いただきました。
 伊藤園の社員とご家族の皆さんに心より感謝を申し上げます。



音楽で感性を磨く
 中学校芸術鑑賞会が開催

7/14

芸術鑑賞の機会を通して、自主的・自発的な文化・芸術活動の振興に寄与する「中学校芸術鑑賞会」が美国中学校で開催されました。
 今回の観賞会では講師にゴスペルシンガーのKIKIさんを迎え、参加者にも馴染みのある幅広いジャンルの楽曲が演奏されました。生徒は歌に合わせて手を叩いたり、講師に促されてステージ上で踊るなど積極的に講演を楽しんでいました。
 また、講演の中でいじめの問題や、演奏者自身の生い立ちに触れながら生きることの素晴らしさを語りかける場面も見られ、生徒たちは真剣な眼差しで講演に耳を傾けていました。



理科実験に小学生の歓声
 移動理科教室が開催

7/15

美国小学校で北海道立教育研究所付属理科研究センターの職員3名を講師に移動理科教室が開催され、町内4つの小学校の児童が実験や観察を通して理科に触れました。
 この日、午前中は教室内で学年ごとに工作や「走る科学館」サイエンスカーの見学をし、午後からはグラウンドでの水口ケツト大会や、飛行機のひみつの学習、液体窒素を用いたサイエンスショーが行われました。
 特に、初めて見る-196℃の液体窒素に、植物や風船など身近な物を浸し、変化の様子を観察する実験には児童も興味津々の様子。歓声が何度も上がる大変な盛り上がりとなりました。



まちの日記帳

まちの日記帳



それぞれの懐かしい故郷
 「札幌しゃこたん会」周遊ツアー

7/4

札幌とその近郊に在住している積丹町出身者で構成される「札幌しゃこたん会」(大平源一会長:会員87名)が主催する年に1度の恒例行事、「積丹周遊バスツアー」が行われ、26人の会員が来町しました。
 夜には余別町で懇親会が開催され、地元からは山本俊三商工会長や松井町長らも駆けつけ、参加者たちは再会を喜び、積丹町の旬の食材と美味しいお酒を味わいながら故郷の思い出話に花を咲かせ、また来年の再会を約束しました。



短冊にこめた願い
 みなと保育所「七夕まつり」

7/7

みなと保育所で七夕祭りが開催され、園児と保護者が年に一度の伝統行事を楽しみました。
 この日は、焼きそばやかき氷など食事の出店や、くじ引きやヨーヨー釣り、お化け屋敷やスーパーボールすくいなど遊びの出店でお祭りを楽しんだ後、それぞれが願いをこめて作成した短冊の発表が行われ、園児の夢が素直に書かれた短冊の発表に父母の皆さんはおもわず顔をほころばせていました。
 最後は園児が楽しみにしていた花火大会が行われ、親子の絆が更に深まる七夕の夜となりました。



緊急の事態へ備え
 消防士による水難救助訓練

7/8

海の事故が想定されるこれからの時期に備え、北後志消防組合積丹支署の消防士による水難救助訓練が美国漁港で実施されました。
 訓練の想定は、美国漁港製氷施設付近で転覆している漁船を発見、水面には帽子等が浮かんでおり、漁師が海中に転落したと思われる状況。訓練に当たった消防士は岸壁から海に入り、水面から捜索。要救助者発見後は引揚器具により救出し、バスケットストレッチャーで岸壁付近まで移動、要救助者を陸まで引揚げるまでの訓練を行いました。
 いつ発生するか分からない事態を想定した同支署消防士達の厳しい訓練は町の誇りです。

